

新たな時代に挑戦!



県政をもっとわかりやすく!!

皆さんの思いが私たちにかわるように!

ご挨拶

岐阜県議会議員の長屋光征です。

皆様からの温かいご支援のおかげで、新たな県議会議員としての任期をお預かりし、議員在職年数9年目を迎えさせていただいていること、こころより感謝申し上げます。

また、今年には新たな元号で迎えることとなった岐阜県議会において総務委員長を拝命することとなりました。

来年は東京オリンピック・パラリンピックや、本県が大きくクローズアップされる大河ドラマ「麒麟が来る」の放送があり本県にとっては飛躍の準備を進める重要な年となるほか、令和4年度に完成予定の岐阜県庁新庁舎の議論、2020年以降の岐阜県を考え、多発する自然災害から県民の皆様の生命財産をいかに守るのかを施策に反映させる大切な年となるため、県政全般を取り扱う総務委員会は大変重要な委員会となります。

これからも岐阜県議会や岐阜県庁が皆さんにとって身近に感じてもらえるように活動をさせていただくのと同時に、岐阜県の未来に責任を持って活動をさせていただきますので、引き続きの皆様のご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

総務委員会について



多様な時代の働き方と、 新システムを導入した行政改革を！！

今年には県議会の常任委員会の一つである総務委員会委員長として委員会を取り仕切る役を務めさせていただいておりますが、総務委員会は県政全般を議論させていただく大変重要な委員会であります。昨年の教育・警察委員会委員長時には1年間かけて岐阜県警察にAI(人工知能)の導入を検討することを進めさせていただきましたが、今年には総務委員会委員長として、県庁全体の働き方改革や、県民の皆様からお預かりしている税金を無駄に使うことが無いようにペーパーレス化(紙の削減)を進めたいと考えています。

働き方改革に関しては県庁本庁舎や出先機関でも効率的に仕事ができるようなシステムを導入すること、ペーパーレス化は本庁舎だけで年間4000万枚以上使われている紙を削減するための方法を導入していくことを考えています。

委員長として何ができたのかを皆様にお示し出来るように精一杯頑張ります。

6月議会の質問トピックス

1 児童虐待防止について

未来ある子供たちの命と笑顔を守る取り組みを

- (1) 児童福祉法等の改正による職員増加の財源等の課題と子ども相談センターの体制整備について
- (2) 児童虐待相談対応件数の増加を受けた対策について
- (3) 子ども相談センターの職員に対するストレスケアについて

《質問概要》

社会現象化する児童虐待について、法改正に対しての体制整備を知事に、昨年よりも30パーセント近く増加した相談件数に対しての対策と、現場の職員さんに対するストレスケアをどのようにしていくのかを子ども・女性局長に質問をさせていただきました。



《答弁》

知事からは必要な財源の確保を国に対して要望する旨の答弁のほか、児童福祉司の早期の増員をお約束いただきました。子ども女性局長からは児童虐待の早期発見解決にむけた関係機関とのさらなる連携強化や、今まで以上に対応する職員さんに対するストレスケアをお約束していただきました。

質問後・・・・・・・・

岐阜市議会と連携！！

現在は岐阜市で発生する児童虐待事案も県の児童相談所に対応していますが、相談件数の増加と法改正により中核市も児童相談所の設置の推進が明記されたため、岐阜市議会において岐阜市にも児童相談所を設置するように取り上げていただきました。

2 交通安全対策について

地域の安全安心と多様な社会に合わせた交通施策を

- (1) 大津市の交通事故を受けて実施された安全点検の進捗状況と対策について
- (2) 安全点検を踏まえた県管理道路の対策について
- (3) 県立高等学校における自転車通学の交通安全教育について
- (4) 高齢者の事故防止のための踏み間違い防止装置の購入補助について



《質問概要》 大津市の交通事故を受けて実施された安全点検の進捗状況と、今後の対策についてを警察本部長と道路管理者である県土整備部長に質問をさせていただきました。併せて高校生の自転車通学の安全教育と高齢者の事故防止のための踏み間違い防止装置の購入補助について教育長、と環境生活部長に質問をさせていただきました。

《答弁》

警察本部長からは緊急点検での149ヶ所(6月現在)の危険箇所の把握と道路管理者への改善案の申し入れをしていただいていることへの答弁と引き続きの幼稚園や保育園周辺の現地調査と対策の推進についてお約束をいただきました。

併せて県土整備部長からは緊急点検を踏まえての安全確保対策を関係機関との連携のもと優先順位を付けながら対策していただくことをお約束していただきました。

教育長からは今までの交通安全教育の現場と地域の実情に合わせた交通安全教育の推進をお約束していただきました。

環境生活部長からは国の新制度の検討状況を踏まえつつ、装置の普及促進も含めて、高齢者の事故防止対策について検討していくことをお約束していただきました。

質問後・・・・・・・・

予算化！！

今回質問させていただいた交通安全対策については令和元年第4回定例議会の補正予算において、新規で暮らしの安全・安心確保対策の強化として歩行者の安全安心を確保するための交通事故防止対策費と、高齢運転者交通安全対策費を予算計上していただきました。

※その他にもこんな質問をしました。

3 大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した観光振興に向けた他自治体との連携及び一過性に終わらせないための取組みについて

4 幅広い年齢層が親しむことができるぎふ木遊館の運営について



経過報告 政策提言に年齢制限はない！！

高校生の声が県政に

以前の県政報告でもご報告しましたが、高校生からの提案を私が議会で提案した岐阜県総合防災ポータルが7月からリニューアルして運用開始されました。

なぜ、岐阜県総合防災ポータルをリニューアルする必要があったのかは、昨年の豪雨災害において本県で被災した高校生は本県の防災サイトの問題点を大きく3つ指摘してくれました。

- ①全体的に情報がわかりにくい。
- ②スマホ対応になっていない。
- ③多言語化になっていない。

その問題点を大幅に改善し、スマホ対応になったのはもちろんのこと、写真に掲載しているように、42市町村の気象警報を地図表記にし、各種警報注意報を色でわかりやすく表示されるとともに、危機管理部の公式ツイッターの画面表示、リンク先の拡充、多言語化対応にもなっています。

現在の岐阜県総合防災ポータル



スマホにも対応！



活動写真（抜粋）



岐阜県議会議員 **長屋こうせい事務所**

長屋こうせい 検索
活動報告掲載中



2019年8月～9月



中京大学
嶋崎 元貴くん

日本福祉大学
松井 佑太くん

岐阜県庁や岐阜市役所、岐阜県警等の見学や日々の議員活動に同行してもらい、それぞれ約100時間の実習を積んで頂きました。

大学生議員インターンシップ を実施しました

大学の学生さんが2名インターンシップとして事務所に来てくれました。

長屋：インターンシップの感想はどうだった？

嶋崎：公務員を志望しているので、実際に自分の目指す職業の人が働いている環境である県庁や市役所に行って見られた、というのがすごく良かった。
行政が管理している公園の利用基準等、自身が気になっていたことを自分で聴きに行く等の経験が出来た。

松井：岐阜の出身なのに、意外と知らない場所や施設が多かった。
(岐阜市の長良川うかいミュージアムや柳ヶ瀬商店街、郡上市の清流長良川あゆパークを見学) また県議会議員のお仕事は、億単位の事業ばかりかと思ったが、地域の木の伐採やちょっとした相談等もたくさんあるんだな、と意外に思った。
また祭りなどに行くとその地域の議員さんがちよくちよくおられるんだな、ということも実感した。

長屋：そうだね。地域の方からするとこれは県に相談すべきなのか市なのか国なのかよくわからないことも多いから、まず自分は何でも相談してもらえるような議員であれるよう活動を頑張る。管轄する役所を調べてそれぞれに適した動きを取れば良いわけなのでね。
ということは政治に対するイメージは変わった？

嶋崎：難しい、遠い・・・というだけの印象からは変わった。県議会閉会中に行われた総務委員会委員協議会も難しくはあったけれど、県庁のペーパーレスを今後進めていきたい等の提案は学生にもわかりやすく身近に感じた。

松井：思っていたより仕事をしているんだな、と率直に思った。特に防災面。
伊勢湾台風60年のフォーラムや、伊自良川の改修要望などに触れて、こういった事業は今の時代特に大切にしなければいけないと感じた。



最終日に2人と行った対談を抜粋して一部紹介致します！

長屋：県議会を身近に感じてもらえるように頑張りたい。個人的には議事録が上がってくるのには時間がかかるので、どういう議論を今県がしているのかよりわかる委員会にするため、ネット中継や録画中継してもいいと思っている。8000億円という税金が源の予算の使い道の議論なので若い人にもわかってもらえるよう真剣に今後もやっていきたい。

防災についても公的な対応面はもちろん、いざという時には自分たちの命を守れる動きが取れるような準備も呼びかけをしながら広めていきたいと思うね。

嶋崎：今夏、東日本大震災で被災した宮城県もボランティアに行ってきたが、自分の目で見て当時の津波の大きさを感じることも大切だと思った。

長屋：若い学生さんが自分たちで感じてきてもらうことにはとても意義があると思う。

当時、岐阜県は女性職員さんを復興派遣に送ることで喜ばれた経験があるが、それぞれの立場で出来ることを考えて実施することがとても大切だと思う。

ふたりは公務員志望でもあるし、インターンが終わっても勉強をしたいことがあればいつでも（長屋を）頼って欲しいし、活かして欲しい。また今回は県政を中心に感じてもらったが、最近は若い世代の国会議員が力を持ち始めた。

学生さん目線で評価をしてくれると嬉しく思うし、今後も意見交換をしていけると嬉しい。

2カ月間ありがとうございました！

